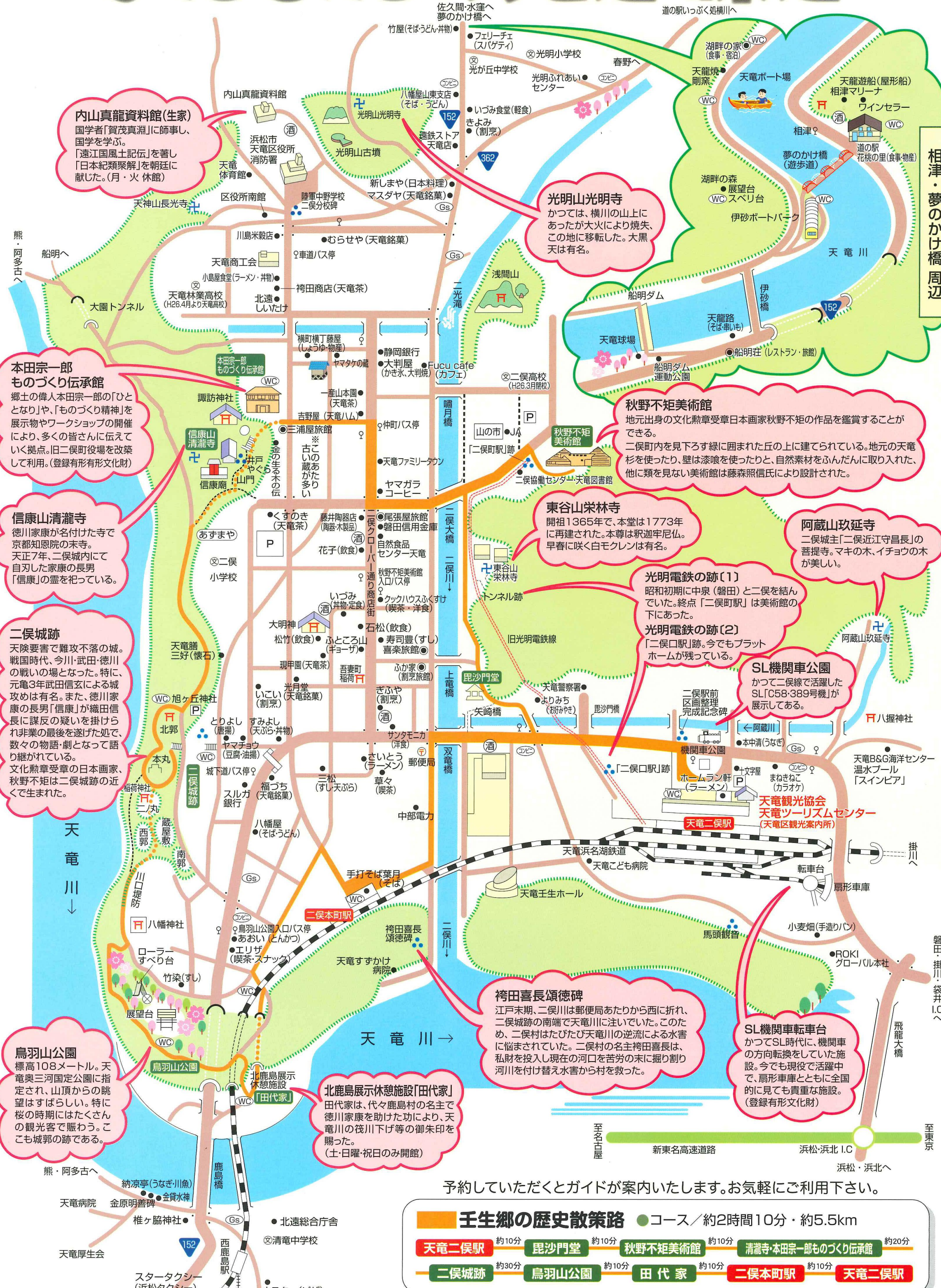


ふたまたの見処 味処



内山真龍資料館(生家)
 国学者「賀茂真淵」に師事し、国学を学ぶ。「遠江国風土記伝」を著し「日本紀類聚解」を朝廷に献じた。(月・火 休館)

光明山光明寺
 かつては、横川の山上にあったが大火により焼失、この地に移転した。大黒天は有名。

相津・夢のかけ橋周辺

本田宗一郎 ものづくり伝承館
 郷土の偉人本田宗一郎の「ひととなり」や、「ものづくり精神」を展示物やワークショップの開催により、多くの皆さんに伝えていく拠点。旧二俣町役場を改築して利用。(登録有形文化財)

秋野不矩美術館
 地元出身の文化勲章受章日本画家秋野不矩の作品を鑑賞することができる。二俣町内を見下ろす緑に囲まれた丘の上に建てられている。地元の天竜杉を使ったり、壁は漆喰を使ったりと、自然素材をふんだんに取り入れた、他に類を見ない美術館は藤森照信氏により設計された。

信康山清瀧寺
 徳川家康が名付けた寺で京都知恩院の末寺。天正7年、二俣城内にて自刃した家康の長男「信康」の霊を祀っている。

東谷山栄林寺
 開祖1365年で、本堂は1773年に再建された。本尊は釈迦牟尼仏。早春に咲く白モクレンは有名。

阿蔵山玖延寺
 二俣城主「二俣近江守昌長」の菩提寺。マキの木、イチヨウの木が美しい。

二俣城跡
 天険要害で難攻不落の城。戦国時代、今川・武田・徳川の戦いの場となった。特に、元龜3年武田玄直による城攻めは有名。また、徳川家康の長男「信康」が織田信長に謀反の疑いを掛けられ非業の最後を遂げた処で、数々の物語・劇となって語り継がれている。文化勲章受章の日本画家、秋野不矩は二俣城跡の近くで生まれた。

光明電鉄の跡〔1〕
 昭和初期に中泉(磐田)と二俣を結んでいた。終点「二俣町駅」は美術館の下にあった。
光明電鉄の跡〔2〕
 「二俣口駅」跡。今でもプラットフォームが残っている。

SL機関車公園
 かつて二俣線で活躍したSL「058-389号機」が展示してある。

鳥羽山公園
 標高108メートル。天竜奥三河国定公園に指定され、山頂からの眺望は素晴らしい。特に桜の時期にはたくさんの観光客で賑わう。こも城跡の跡である。

北鹿島展示休憩施設「田代家」
 田代家は、代々鹿島村の名主で徳川家康を助けた功により、天竜川の筏川下り等の御朱印を賜った。(土・日曜・祝日のみ開館)

袴田喜長頌徳碑
 江戸末期、二俣川は郵便局あたりから西に折れ、二俣城跡の南端で天竜川に注いでいた。このため、二俣村はたびたび天竜川の逆流による水害に悩まされていた。二俣村の名主袴田喜長は、私財を投入し現在の河口を苦勞の末に掘り割り河川を付け替え水害から村を救った。

SL機関車転車台
 かつてSL時代に、機関車の方向転換をしていた施設。今でも現役で活躍中で、扇形車庫とともに全国的に見ても貴重な施設。(登録有形文化財)

予約していただくとガイドが案内いたします。お気軽にご利用下さい。

壬生郷の歴史散策路 ●コース/約2時間10分・約5.5km

天竜二俣駅	約10分	毘沙門堂	約10分	秋野不矩美術館	約10分	清瀧寺・本田宗一郎ものづくり伝承館	約20分	
二俣城跡	約30分	鳥羽山公園	約10分	田代家	約10分	二俣本町駅	約10分	天竜二俣駅